



CHAPTER 2

Cisco IOS ソフトウェア機能

この章では、Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) を使用してルータを設定する前に、Cisco IOS ソフトウェアについて理解しておく必要のある事項について説明します。この章の内容は、次のとおりです。

- 「ヘルプの取得」(このページ)
- 「コマンドモードについて」(P.2-2)
- 「コマンドまたは機能の取り消し」(P.2-3)
- 「変更した設定の保存」(P.2-3)

ここに記載された情報を理解しておく、すぐに CLI を使用できます。Cisco IOS ソフトウェアの使用経験がない場合や確認が必要な場合は、先に進む前にこの章を読んでください。すでに Cisco IOS ソフトウェアを使い慣れている場合は、第 3 章「初回設定」に進んでください。

ヘルプの取得

疑問符 (?) と矢印キーを使用すると、コマンドの入力に役立ちます。

- 使用可能なコマンドのリストを表示するには、疑問符を入力します。

```
Router> ?
```

- コマンドを完成させるには、わかっている文字を数文字入力し、続けて疑問符を入力します (スペースなし)。

```
Router> s?
```

- コマンド変数のリストを表示するには、コマンドに続けてスペースと疑問符を入力します。

```
Router> show ?
```

- 以前に入力したコマンドを再表示するには、↑キーを押します。さらに多くのコマンドを表示するには、続けて↑キーを押します。

コマンドモードについて

Cisco IOS ユーザ インターフェイスは、さまざまなコマンドモードで使用されます。各コマンドモードで、ルータ上の異なるコンポーネントを設定できます。使用可能なコマンドは、その時点でどのコマンドモードにいるかによって異なります。プロンプトで疑問符 (?) を入力すると、そのコマンドモードで使用可能なコマンドのリストが表示されます。次の表に、最も一般的なコマンドモードのリストを示します。

| コマンドモード | アクセス方法 | 表示されるルータ プロンプト | 終了方法 |
|----------------------|--|---------------------|--|
| ユーザ EXEC | ログイン | Router> | logout コマンドを使用します。 |
| 特権 EXEC | ユーザ EXEC モードから enable コマンドを入力します。 | Router# | ユーザ EXEC モードに戻るには、 disable 、 exit 、または logout のいずれかのコマンドを使用します。 |
| グローバル コンフィギュレーション | 特権 EXEC モードから、 configure terminal コマンドを入力します。 | Router (config)# | 特権 EXEC モードに戻るには、 exit コマンドまたは end コマンドを使用するか、 Ctrl+Z キーを押します。 |
| インターフェイス コンフィギュレーション | グローバル コンフィギュレーションモードから interface type number コマンドを入力します (例: interface gigabitethernet 0/0)。 | Router (config-if)# | グローバル コンフィギュレーションモードに戻るには、 exit コマンドを使用します。 特権 EXEC モードに直接戻るには、 Ctrl+Z キーを押します。 |



ワンポイントアドバイス

各コマンドモードで使用できるコマンドは、コマンドのサブセットに制限されています。コマンドの入力に問題がある場合は、プロンプトを確認し、疑問符 (?) を入力して使用可能なコマンドのリストを表示します。不正なコマンドモードにいるか、不正な構文を使用している可能性があります。

次の例は、新しいコマンドモードを示すために、各コマンドの後にプロンプトがどのように変化するかを示しています。

```
Router> enable
Password: <enable password>
Router# configure terminal
Router (config)# interface gigabitethernet 0/0
Router (config-if)# exit
Router (config)# exit
Router#
%SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
```

最後のメッセージは正常で、エラーを示しているわけではありません。**Return** キーを押して、Router# プロンプトに切り替えます。



(注)

どのモードでも、**exit** を入力して直前のモードに戻る代わりに、**Ctrl+Z** キーを押すと、すぐにイネーブルモード (Router#) に戻ることができます。

コマンドまたは機能の取り消し

入力したコマンドを取り消すか、または機能を無効にするには、大半のコマンドの場合、コマンドの前に **no** キーワードを入力します (例: **no ip routing**)。

変更した設定の保存

システムのリロードや停電の際に変更内容が失われないように、設定の変更を Nonvolatile Random-Access Memory (NVRAM; 不揮発性 RAM) に保存するには、**copy running-config startup-config** コマンドを入力します。たとえば、次のようにコマンドを使用します。

```
Router# copy running-config startup-config  
Building configuration...
```

設定を NVRAM へ保存するには、数分かかる場合があります。設定が保存されると、次のメッセージが表示されます。

```
[OK]  
Router#
```

